

記 録

次のとおり学内研究発表会及び公開講座等を開催した。

1 学内研究発表会

研究委員会主催

※新型コロナウイルス感染症対策としてWEB会議システムを利用して実施した。

2021年度神奈川県立保健福祉大学 研究発表会

日 時：2021年8月23日(月)

演 題：12演題

<p>在宅終末期がん患者へのナースセラピストによるアロママッサージの有用性の検討</p> <p>○間瀬由記¹⁾、所澤いずみ²⁾、中村あや子³⁾、黒河内仙奈¹⁾、野村良彦⁴⁾、千場純⁵⁾、加藤利章⁶⁾、佐々木純久⁴⁾</p> <p>¹⁾ 看護学科 ²⁾ Toriセラアロマ研究所 ³⁾ おひさま訪問看護ステーション ⁴⁾ 野村内科クリニック</p> <p>⁵⁾ 三輪医院 ⁶⁾ 在宅医療クリニック</p>
<p>精神障害と物質使用障害を併存する者をめぐる支援の現状 －支援者へのグループインタビュー調査をもとに－</p> <p>○種田綾乃¹⁾、池田朋広²⁾</p> <p>¹⁾ 社会福祉学科 ²⁾ 高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科</p>
<p>薬害HIV感染患者の精神健康・身体症状・生活の満足度に関する27年間の縦断調査と患者との振り返り (中間報告)</p> <p>○石原美和^{1) 4)}、松永早苗¹⁾、佐藤直子¹⁾、島田恵^{2) 4)}、八鍬類子³⁾、大金美和⁴⁾、池田和子⁴⁾、柿沼章子⁵⁾ 武田飛呂城⁵⁾</p> <p>¹⁾ 実践教育センター ²⁾ 東京都立大学健康福祉学部看護学科 ³⁾ 東京医療保健大学千葉看護学部</p> <p>⁴⁾ 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター ⁵⁾ はばたき福祉事業団</p>
<p>谷戸地区で暮らす住民の健康増進に向けた支援の検討－第1報－</p> <p>○岸川学¹⁾、黒河内仙奈²⁾、長島俊輔²⁾、池田公平³⁾、田中和美⁴⁾、内海淳⁵⁾</p> <p>¹⁾ 社会福祉学科 ²⁾ 看護学科 ³⁾ リハビリテーション学科 ⁴⁾ 栄養学科 ⁵⁾ 地域貢献研究センター</p>
<p>神奈川県地域がん登録データをがん対策に活かす</p> <p>○成松宏人^{1) 2)}、神田悟²⁾、渡邊要²⁾、中村翔^{1) 2)}、渡邊亮¹⁾</p> <p>¹⁾ ヘルスイノベーション研究科 ²⁾ 神奈川県立がんセンター臨床研究所がん予防・情報学部</p>
<p>Mendelian randomization (メンデルランダム化) による栄養学的因子の健康影響の検討</p> <p>○遠又靖丈¹⁾</p> <p>¹⁾ 栄養学科、保健福祉学研究科</p>
<p>経済的理由で治療や療養先の選択が限られる患者と医療ソーシャルワーカーの支援に関する研究</p> <p>○高橋恭子¹⁾、小峯千明²⁾、武石紗熙³⁾、高田奈央⁴⁾、中島亜衣⁵⁾、林愛美⁶⁾</p> <p>¹⁾ 社会福祉学科 ²⁾ 第二川崎幸クリニック ³⁾ 厚木市立病院 ⁴⁾ 神奈川県立精神医療センター</p> <p>⁵⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 ⁶⁾ 済生会横浜市南部病院</p>

<p>統合アセスメントの推進に関する研究 - 多職種の視点を入れたケアマネジメントの展開に向けて -</p> <p>○柴山志穂美¹⁾、川越雅弘²⁾、田口孝行³⁾、白倉京子³⁾、丸山優³⁾、河合綾香⁴⁾、阿部佳子⁵⁾ 磯野祐子⁶⁾、白島智子⁷⁾</p> <p>¹⁾ 実践教育センター ²⁾ 埼玉県立大学保健医療福祉学研究所 ³⁾ 埼玉県立大学保健医療福祉学部 ⁴⁾ 埼玉県立大学研究開発センター ⁵⁾ 医療法人社団やまと日吉慶友クリニック ⁶⁾ 地域まるごとケアステーション川崎 ⁷⁾ 株式会社トータルサポート・ノダ</p>
<p>補完代替医療保健信念質問紙 (Complementary and Alternative Medicine Health Belief Questionnaire; CHBQ) 日本語版の開発</p> <p>○谷口千絵¹⁾ ¹⁾ 看護学科</p>
<p>パンデミック発生時に国際支援を担う看護職の準備教育プログラムの開発</p> <p>○松永早苗¹⁾、石原美和¹⁾、押谷仁²⁾ ¹⁾ 実践教育センター ²⁾ 東北大学大学院医学系研究科</p>
<p>専門家による政策形成過程への関与の動態 - 感染症の流行制御における非制度的な科学的助言 -</p> <p>○黒河昭雄¹⁾ ¹⁾ イノベーション政策研究センター</p>
<p>地域共生社会と社会福祉に関する研究</p> <p>○西村淳¹⁾、中村美安子¹⁾、高橋恭子¹⁾、川村隆彦¹⁾、山本恵子¹⁾、大島憲子¹⁾、川久保寛¹⁾、吉中季子¹⁾、 在原理恵¹⁾、行實志都子¹⁾、石井忍¹⁾、岸川学¹⁾、種田綾乃¹⁾ ¹⁾ 社会福祉学科</p>

2 公開講座等

ヘルスイノベーション研究科主催

レギュラトリーサイエンス公開講座「いま、あらためてレギュラトリーサイエンスを考える」

期 間：2021年11月22日(月)、2022年2月1日(火)、3月22日(火) (3回シリーズ)

内 容：広義のレギュラトリーサイエンスの概念についての理解を深めることを目的として、レギュラトリーサイエンスとは何か、いまなぜレギュラトリーサイエンスなのかという問いを出発点に、全3回のセミナーを通じてレギュラトリーサイエンスのエッセンスを俯瞰的に学修する機会を提供した。

ヘルスイノベーション研究科・実践教育センター共催

「ヘルスケア現場からのニーズ発掘ワークショップ」(オンライン・グループワーク)

日 時：2021年12月1日(水)、2022年1月8日(土) (2回シリーズ)

内 容：実践教育センターの学生を対象に、職場での困りごとや課題をデザイン思考の手法を使ってニーズとして抽出。2月9日(水)の川崎市との共催イベントで紹介、企業とのマッチング等につなげた。

講 師：島岡未来子 (ヘルスイノベーション研究科 教授)

松永早苗 (実践教育センター実践研究担当課長兼保健福祉学部 准教授)

実践教育センター主催

令和3年度公開講座 (特別企画)

※新型コロナウイルス感染症対策としてWEB会議システムを利用して実施した。

日 時：2021年4月24日(土)

テーマ：新型コロナウイルス感染症 パンデミックの行方～医療従事者の奮闘の先にあるもの～

パネルディスカッション「パンデミックの行方と対策の展望」

座長 石原美和 (実践教育センター長)

パネリスト 前田光哉様 (神奈川県理事／新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部員)、岡部信彦様 (川崎市健康安全研究所長／政府新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員)、黒木利恵 (実践教育センター 専任教員)

地域貢献研究センター主催

(1)ヒューマンサービス公開講座 (春期)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンデマンド形式 (事前収録動画配信) で開催

動画公開期間：2021年7月16日(金)～

メインテーマ：こころとコミュニケーション

講師と講演テーマ：○中村丁次 (神奈川県立保健福祉大学 学長)

「コロナ禍におけるコミュニケーションとヒューマンサービス」

○榎 恵子 (看護学科長)

「コロナ禍での人と人とのつながりを保つために～コミュニケーションの工夫～」

○津野香奈美 (ヘルスイノベーション研究科 准教授)

「コロナ禍における職場のメンタルヘルス」

(2)ヒューマンサービス公開講座 (秋期)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンデマンド形式 (事前収録動画配信) で開催

動画公開期間：2021年12月14日(火)～

メインテーマ：ヒューマンサービスとSDGs

講師と講演テーマ：○森田千晶 (リハビリテーション学科作業療法学専攻長)

「義手を知っていますか」

○倉貫早智 (栄養学科 教授)

「健康な食事」と「持続可能な食事」

○西村 淳 (社会福祉学科 教授)

「ヒューマンサービスとSDGs -その理念と地域づくり-」

○木村芳滋 (人間総合科 教授)

「線虫にも五感があるんです」

イノベーション政策研究センター主催

(1)オンラインセミナー「神奈川発！ヘルスケア・イノベーションの国際展開のこれから」

日 時：2021年9月15日(水)

内 容：神奈川県と連携し、ヘルスケア・イノベーションの国際展開に関するウェビナーを開催した。7年目を迎えた「最先端医療・最新技術の追求」と「未病の改善」という2つのアプローチを融合させた健康寿命の延伸と持続可能な新たな社会システムの創造の推進という取り組みについて、第一線のイノベーターたちをお迎えし、これまでの成果や今後のグローバル展開の展望について議論した。

(2)オンラインシンポジウム「未病で描き出すポストコロナの世界、そして未来」

日 時：2021年11月17日(水)、18日(木)

内 容：神奈川県及びスタンフォード大学と連携してオンラインシンポジウムを開催。「未病を切り口に健康とテクノロジーの今後を考える」、「新型コロナウイルス感染症を巡る未病・重症化予防の取組」の2つをテーマとして、コロナ禍においてますます重要性を増す「未病」の取り組みを紹介するとともに、「未来」、「ポストコロナの世界」に向けた注目すべき動向についてディスカッションした。

(3)オープンセミナー「再生医療特論」

期 間：2021年10月4日(月)～2022年1月31日(月) (15回シリーズ)

内 容：再生医療分野の研究開発の最前線で取り組まれている著名な研究者の方々を招き、再生医療をはじめとする先端生命科学の研究動向や政策動向について学ぶセミナーを開催した（ヘルスイノベーション研究科独自の教育コンテンツである「再生医療特論」の講義の一部を一般に公開したもの）。